

いきたい！しりたい！せかいのくに！

氏名： 池田達彦

学校名・場所： 交野市立交野小学校・ランチルーム

担当教科： 小学校全科

実践教科： 生活・道徳・特別活動・図工・音楽

時間数： 6時間

対象学年： 1学年

人数： 114人

【1】単元のテーマ

- ・開発途上国のルワンダの環境や文化を知り、日本との相違点について考える。
- ・世界に目を向け、様々な環境、文化などについて知る。
- ・行ってみたい国、もっと知りたい国について興味、関心を持ち発表する。

【2】 単元の評価 規準

(ア) 関心・意欲・態度	ルワンダをはじめ、世界の国に興味をもって知ろうとする。
(イ) 思考・判断・表現	・日本とルワンダを比較し、そこから世界の様々な国の環境、文化について考えることができる。 ・ルワンダのお友だちへの質問を考えることができる。
(ウ) 技能	ルワンダの環境や文化について知り、ルワンダの布を用いたボタンや、エコサッカーボールを作ることができる。
(エ) 知識・理解	ルワンダの生活を見て、世界の国々をはじめ開発途上国に関する理解が深まっている。

単元設定の 理由

本学級の児童は、外国の文化に触れたり、外国籍の友だちや人に出会ったりする経験が少ない。そのため国と国との環境や文化の違いがあることを理解できていない児童も多くいる。また、平和教育においても6年生の折り鶴作成の際の「平和」という言葉を難しく感じる児童が多くいた。そこで、ルワンダという国を知ることがきっかけに世界に目を向けさせ、また、歴史的な背景を持つ両国の子どもたちに自分たちが力を合わせ、協力する活動が自然と身近な平和を築いているということに気付かせたいと考えた。

単元のはじめには世界についての知識が浅いため、様々な国の本を並行読書できる環境を整えた。そして、現地での写真を用いて日本とルワンダの環境や文化の違いについて考えさせる。単に途上国の生活を見て日本でよかった、など安易に流れないように、人々の思いや経済事情なども伝えていきたい。そこから、世界にはどんな環境や文化があるのか興味を持たせる。

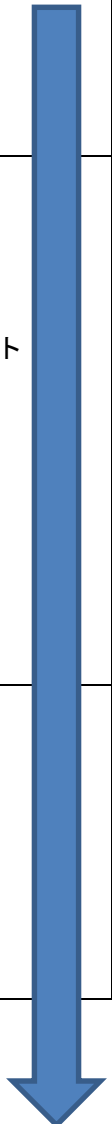
学習の中では世界をより身近な事として捉えられるような工夫を取り入れた。1つは、ルワンダの伝統的な布を使ったボタンづくり。2つめはルワンダの子どもたちと同じようなエコサッカーボール作り。活動をきっかけに、それぞれの国の伝統文化や環境問題についてもふれさせたいと思う。

平和教育においては、海外研修渡航前に児童が描いた笑顔の顔や染物などを使って教師が平和パズルを作成した。パズルの中には、平和のイメージが思い浮かびやすいように折り鶴や「笑」という漢字を用いた。ルワンダ現地学校の実践授業の際には現地の子

どもたちと平和パズルの完成ワークを行い、あわせて日本の子どもたちが「平和・笑顔になるとき」を伝えた。同じように日本の子どもたちにもパズルを体験させ、まずは、協力して一つのを完成させることが平和に近づくのだと伝えたい。また、ルワンダの子どもたちの様子や平和に対する思いも伝えることで平和のイメージをより深めていきたいと思う。

今回の単元のゴールには、児童が自分たちの「いきたい！しりたい！せかいのくに！」をまとめ、クラスで交流する時間を設定している。本単元から児童が世界の国々に興味を持ち、これからの子どもたちの国際理解の素地となるような内容としたい。

【4】展開計画（全6時間）			
時	めめあて・〇ねらい	活動・内容	使用教材
1	<p>①ルワンダってどんなくにかかんがえよう。</p> <p>〇ルワンダと日本の環境や文化の共通点や相違点について考える。</p>	<p>1. 写真を見てルワンダの国を知る。</p> <p>2. ルワンダと日本の共通点や相違点について考える。</p> <p>【・スーパー・動物・食べ物・運び方 ・市場・野菜・水・街・ゴミ・遊び・楽器 ・服装・肌の色】</p> <p>3. 楽器や水くみの重さなどを体感する。</p> <p>4. 授業のふりかえりを行う。</p> <p>①授業でわかったこと ②ルワンダの友だちに聞いてみたいこと。 ③行きたい国・知りたい国 についてまとめる。</p>	<p>・せかいじゅうの子どもたちが（歌・BGM）</p> <p>・太鼓</p> <p>・水</p> <p>・マラカス</p> <p>・布</p> <p>・エプロン</p> <p>【並行読書教材】 ・せかい地図絵本 ・さまざまな国の本</p>
2	<p>②にほんとルワンダのぬののちがいをかんがえよう。</p> <p>〇二つの国の布の違いから、伝統や文化について知りボタンをつくることのできる。</p>	<p>1. ルワンダの布と日本の布を見て、二つの布の違いについて考える。</p> <p>2. 布が何に使われているのかを考え発表する。</p> <p>【・服 ・鍋敷き ・鍋つかみ ・カバン ・抱っこひも】</p> <p>3. ルワンダの布を使ってボタンをつくる。</p> <p>4. 授業のふりかえりを行う。</p> <p>①授業でわかったこと ②ルワンダの友だちに聞いてみたいこと。</p>	<p>・布</p> <p>・エプロン</p> <p>・鍋敷き</p> <p>・鍋つかみ</p> <p>・カバン</p> <p>・ボタンセット</p> <p>・トンカチ</p>
3	<p>③にほんとルワンダのあそびのちがいをかんがえよう。</p> <p>〇開発途上国について知り、エコサッカーボールを</p>	<p>1. ルワンダの家の様子についてわかる写真をふりかえる。</p> <p>2. ルワンダと日本の遊びと同じところ違うところを見つける。</p> <p>【・タイヤ転がし ・家づくり・サッカー ・ドッチボール ・サッカーゴール】</p>	



	<p>作ることができる。</p>	<p>3. サッカーボールについて考え、なぜバナナの葉やビニール袋でつくられているのか考える。</p> <p>4. ルワンダの生活の写真を見てルワンダの国の経済事情について知る。</p> <p>5. 自分たちで手作りのサッカーボールをつくる。</p> <p>6. 授業のふりかえりを行う。</p> <p>①授業でわかったこと</p> <p>②ルワンダの友だちに聞いてみたいこと。</p>	<p>【並行読書教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・せかい地図絵本 ・さまざまな国の本
4	<p>④にほんとルワンダの学校のちがいをみつけよう。</p> <p>○コミュニケーションの大切さに気付き他言語への興味を持つ。</p>	<p>1. ルワンダの学校の写真をみて共通点・相違点について話し合う。</p> <p>【・校舎 ・服装 ・教科書 ・給食 ・黒板 ・運動場 ・友だち】</p> <p>2. 言葉が通じない状況だったらどうするのか考える。</p> <p>3. 非言語コミュニケーションとして相手に伝える方法があるのか考える。</p> <p>4. 言葉の大切さに気付き、ルワンダ語をペアで話してみる。</p> <p>5. 授業のふりかえりを行う。</p> <p>①授業でわかったこと</p> <p>②ルワンダの友だちに聞いてみたいこと。</p>	
5 本時	<p>④パズルをしたときのきもちをはなしあおう。</p> <p>○パズルを完成させ、友だちと協力することで(平和・笑顔)になるということに気付く。</p> <p>○ルワンダの友だちの(平和・笑顔)に関する思いを聞き自らの平和に関する思いを深める。</p>	<p>1. 笑顔になる時はどんな時かを思い出す。</p> <p>2. パズルを作る時・完成した時に感じたことを交流する。</p> <p>3. パズルの説明を行う。</p> <p>4. ルワンダのお友だちの平和・笑顔になる時の思いを聞き感想交流する。</p> <p>5. 歌を歌い授業のふりかえりを行う。</p> <p>①授業でわかったこと</p> <p>②ルワンダの友だちに聞いてみたいこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平和パズル ・プロジェクター ・音楽 ・せかいじゅうのこどもたちが
6 7	<p>④いきたい! しりたい! せかいのくに! について発表しよう。</p> <p>○自ら興味を持った国について意欲的に調べようとする。</p>	<p>1. ルワンダの国について知ったことふりかえる。</p> <p>2. 自分がいきたい! しりたい! 国について調べ、まとめる。</p> <p>※調べてもわからないことや聞きたいことはしつもんコーナーに投稿する。(先生や6年生に調べてもらう。)</p>	

	○調べた国についてお友だちと交流し、さまざまな国に興味をもつ。	3. クラスでそれぞれの国について発表を行う。 4. 友だちと感想交流をおこなう。 5. 「1-4 いきたい! しりたい! せかいのくにBOOK」を作成する。 6. 全体の学習のふりかえりを行う。	
本時の展開			
過程時間	□教師の発問 ○児童の反応・活動	指導上の留意点 (支援)	資料 (教材)
導入	<p>□笑顔になるときってどんなときか覚えていますか?</p> <p>□今日はみんなで大きな一つのパズルをしてもらいます。</p> <p>□どうすればうまくパズルを完成させることができるかな?</p> <p>○・力を合わせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちと話し合う。 ・色分けして活動する。 ・協力する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> パズルをしたときのきもちをはなしあおう。 </div>	<p>・自分たちの笑顔を描いた時、笑顔になる時はどんなときだったか思い出させる。</p>	<p>・平和パズル</p>
展開	<p>○友だちと話し合いながらパズルを完成させる。</p> <p>□パズルを作る時、感じたことや思ったことはありますか?</p> <p>○・友だちとパズルの取り合いになった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・邪魔してきた。 ・みんなでやるのはやりやすかった。 ・たくさん話し合うことができた。 ・協力できた。 <p>□完成させたときに感じたことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うれしかった 	<p>・手だてがない様子であれば、色分けするようにアドバイスをする。</p> <p>・時間をみて全体完成図をグループごとに渡す。</p>	

<p>まとめ</p>	<p>□なぜ完成させることができたのでしょうか。</p> <p>○・友だちと協力したから。 ・ヒントをもらったから。 ・みんなが頑張ったから。</p> <p>□パズルの説明をします。</p> <p>□ルワンダのお友だち、えがおになるとき(平和)を聞いて思ったことはありますか。</p> <p>○・ゲームとか物がない。 ・だれかと何かしているとき。</p> <p>□最後にうたをうたいましょう。</p> <p>・今日の活動のふりかえりを行う。</p>	<p>・友だちとの身近な争いについて考え、協力することが平和・笑顔につながるについて伝える。</p> <p>・鶴は平和の象徴。桜は日本のお花。漢字は『笑』みんなの笑顔と染物、朝顔の染物などから平和と笑顔についての関わりがわかるように伝える。</p> <p>・ルワンダのお友だちの平和に関する思いを聞き、平和・笑顔について深める。</p>	<p>・折り鶴の本 ・折り鶴 ・鶴や桜の写真</p>
------------	---	--	--

【授業実践の様子】



導入活動のふりかえり



パズル作成の様子



パズルを作る時の気持ち交流



パズル完成



パズルの感想交流



ふりかえり・歌

【6】本時の振り返り

導入部分では1学期に取り組んだ「笑顔になるとき」を思い出すところから始めた。覚えている児童も多く、『どんなときに笑顔になるか?』を想起させることができた。そこから平和パズル完成ワークを行ったが、パズルは児童にとって興味を持って取り組むことができるツールであった。加えて、事前に自分たちが描いた笑顔がパズルになっていることで、より自分ごととして捉えることができたように思う。

パズルの中では児童間での話し合いが必然的に生まれた。もちろん、途中言い合いや取り合いなどもあった。そんな中でも思いのほかパズルを完成させることがスムーズに進んだため、途中で作業を止め、全体で話し合う時間をとった。そうすると、活動中での些細な言い合いや不満などが話に上がり、全員でパズルを完成させるための話し合いとなった。そこから、一人一人のことを考える視点や、大きな目標である全員でパズルを完成させる!という目標に焦点化することができた。こうした一連の作業の中で、パズルを完成させた時には達成感を全体で共有することにつながったと感じる。

事後の感想でもクラスのほとんどの児童から『できて良かった!うれしかった!気持ちよかった!』との感想があがったため、そこからなぜパズルを全員で完成させることができたのかということに迫り、友達と協力することの大切さを再確認した。また、六年生の修学旅行の折り鶴と結びつけることで、みんなで協力することが平和への一歩になるということにも気付くことができた。

まとめの際には、二国の『笑顔になるとき』を比べることで、日本は物をもらうことで笑顔になることが多いと気付いた。一方でルワンダでは物を所有することで笑顔になるということではなく、誰かと共有したり、一緒に何かをする時に笑顔になるということがわかった。そこから、途上国の経済や環境の違いについて改めて気付くことができたと思う。

最後にルワンダのお友だちからのメッセージを伝えた際には心を打たれた児童が多く、感動する子や、素直に喜びを感じる様子を見せる児童が多くいた。

ふりかえりの前に『せかいじゅうのこどもたちが』の歌を歌うことで笑顔=平和というイメージを持ちながら授業を締めくくる事ができたと思う。ふりかえりでは、ルワンダや世界の事をもっと知りたいという児童も多く、平和や世界に興味を持つきっかけとなる授業になったと思う。

【7】単元を通した児童生徒の反応/変化・ふりかえり

【1時 ㊦ルワンダってどんなくにかかんがえよう。】

- ・ルワンダの人は家に水道がなくて、川に行っているなんて知らなかった。
- ・給食はどんな料理なのか知りたい。
- ・もっとみんなの名前を知りたい。
- ・サッカーボールがバナナの葉を使っていてビックリした。どうやってサッカーボールを作ったのか。
- ・将来の夢は何ですか。
- ・ルワンダの人って忙しい。
- ・動物の命がとても大切。
- ・水が美味しいのか聞きたい。
- ・どんなお勉強をしているのですか。
- ・ルワンダの国が綺麗なことがわかった。
- ・ルワンダのご飯は美味しいですか
- ・ルワンダのスーパーでは日本でも売っているものがあった。
- ・ルワンダの太鼓がまさか牛の皮でできていると思わなかったです

【2時 ④にほんどルワンダのぬののちがいをかんがえよう。】

- ・ルワンダの国と日本との布の違いが分かって面白かった。
- ・ルワンダの布は自然の模様とか、色んな模様が綺麗だった。
- ・ルワンダに行きたいです。

【3時 ④にほんどルワンダのあそびのちがいをかんがえよう。】

- ・ルワンダの遊びと日本の遊びが違うのがわかった。
- ・なぜ木でゴールを作っているのかがわかった。
- ・学校はどんな学校ですか？学校の授業はどんなことをしているのですか？
- ・ボールを自分で作って楽しかった。
- ・ルワンダはビニールをあんまり使わない国ということがわかった。

【4時 ④にほんどルワンダの学校のちがいをみつけよう。】

- ・ルワンダの学校の給食がこんな少ない給食だったと知らなかった。
- ・学校の机はそれぞれカラフルだった。
- ・子どもたちの身長が違ってびっくりした。
- ・日本語じゃなくて、ルワンダ語があると思いませんでした。
- ・ご飯があんまり食べられなかったのがかわいそう。
- ・ルワンダの人に日本に引っ越していいよって言ってあげたら、喜ぶと思う。
- ・給食は、ほとんど同じメニューだということがわかった。

【5時 ④えがおになるときってどんなときかかんがえてみよう。】

- ・パズルが難しかったけど、みんなで協力したからできた。
- ・笑うという漢字になるとは思わなかった。
- ・笑うの漢字の意味がわかった。
- ・ルワンダの人との違いが分かった。
- ・パズルは難しかったけど、話し合っでどんでんできるようになって嬉しかった。
- ・ルワンダの友だちへ。これからも一緒にいようね。

【6・7時 ④いきたい！しりたい！せかいのくに！について発表しよう。】

- ・もっと色んな国を知ってみたい。
- ・自分のいきたい国に行っているいろんなことをしたい。
- ・世界中をまわりたい。

【途上国・異文化への意識の変容について】

(授業前)

- ・国と国との環境や文化、人種の違いがあることを理解できていない児童が多くいる。
- ・平和教育においても6年生の折り鶴作成の際の「平和」という言葉を難しく感じる児童が多くいた。

(授業後)

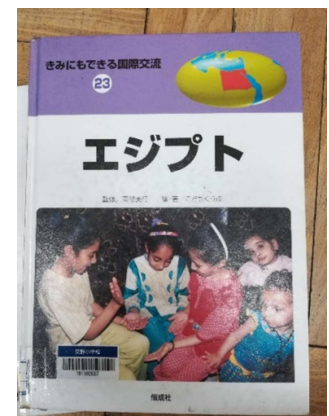
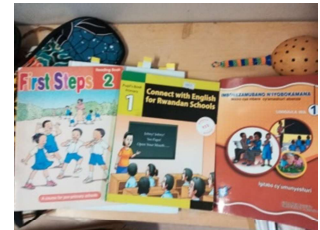
- ・世界に目を向けることができた。
- ・もっと色んな国を知ってみたいと思う児童が多くいた。
- ・毎時間のふりかえりにルワンダのお友達にたくさんの質問をすることで、ルワンダを身近に感じる事ができた。
- ・国と国との環境や文化、人種の違いについて知ることができた。
- ・ルワンダをはじめ、世界の国に行ってみたい！知りたい！という気持ちを持つことができた。

- ・食料を分けた方がいい、お金を分けてあげるなど、自分にできることなどを考え始めるきっかけとなり、途上国や異文化への興味関心をもつことができた。
- ・国際理解の基礎を築くことができたと思う。

【8】自己評価

1. 苦労した点	<p>①小学校一年生という点で、既習事項が浅いため、平和や世界、途上国などについて理解できるような単元のゴール設定に苦労した。</p> <p>②ねらいとしているところを、どこまで掘り下げて授業を行うのかという点。</p> <p>③できる限り実際に触れることができるものを活用し、授業の可視化を行った点。</p> <p>④単元の中で、平和、文化、環境問題など内容が多岐にわたり理解が浅くなってしまふところがあった。1年生としては項目を絞り、取り組ませることが必要だと感じた。</p>
2. 改善点	<p>①既習事項が浅いため、絵本の読み聞かせなどを追加で取り入れ、世界をより身近に感じさせるようにする。</p> <p>②一時間で詰め込みすぎた部分もあるので、子どもに考えさせたいポイントを絞り、より深みのある授業にする。</p>
3. 成果が出た点	<p>開発途上国、世界、平和への興味関心が増えた。一年生としての国際理解の素地となることができたように思う。</p>

添付資料：



参考資料

- ・こどもが はじめてであう せかいちず絵本
- ・きみにもできる国際交流 1～24
- ・ルワンダ現地での教科書3冊

とだ こうしろう
こどもくらぶ

戸田デザイン教室
偕成社